

2. ISMRM 2025における Named Lectureの経験

市川新太郎 浜松医科大学放射線診断学講座

2025年のISMRMは、2017年以来8年ぶりにホノルルで開催された。今回は京都府立医科大学の山田 恵先生がProgram Chairを務められ、木曜日のランチシンポジウムを担当された弘前大学の掛田伸吾先生、Named Lectureを担当した筆者と、日本人3名がPlenary Hallで講演を行った記念すべき会となった。本稿では、Named Lectureを行うまでの経緯や講演の内容についてご紹介させていただく。

Named Lecture とは

ISMRMでは、毎年3つのNamed Lectureが開催される。すなわち、Mansfield Lecture、Lauterbur Lecture、NIBIB New Horizons Lectureである。前の2つはMRI業界のレジェンドである、ノーベル賞受賞者の名を冠している。筆者が担当したNIBIB New Horizons Lectureに名前が入っているNIBIBは、National Institute of Biomedical Imaging and Bioengineeringの略であり、National Institutes of Health (NIH) の研究所の一つである。NIBIBが、中堅、新星にスポットを当てることを目的に創設されたレクチャーとのことである。したがって、Mansfield LectureやLauterbur Lectureに比して、演者の年齢層が低い。

Named Lectureは学会のメインイベントの一つであり、この時間帯は並列のセッションがなく、多くの聴衆が集まるようにプログラムが組まれている。注目度が非常に高く、学会ホームページや

SNSで筆者の写真を目にされた方も多と思う。事前のインタビューも2件ご依頼いただいた。一つは“MRM Highlights magazine”で、2月にZoomで行われた。この内容は、MRM Highlights magazine-Volume 10に掲載されており、冊子がISMRMの会場で配布されていた。なお、PDFはフリーでダウンロード可能である¹⁾。もう一つは“AuntMinnie.com”であり、学会初日の5月10日(土)に会場の屋外スペースで行われた。このインタビューは動画の視聴が可能である²⁾。

なぜ筆者が選ばれたのか？

それはプログラム作成を担うAnnual Meeting Program Committee (AMPC) のメンバーで体幹部のTable Chairを務められた飯間麻美先生(名古屋大学)の1通のメールから始まった(2024年1月8日)。筆者をNIBIB New Horizons Lectureの演者に推薦したいとのこと、筆者の専門や業績を教えてほしいとのことであった。その日のうちに英文を作成し、返信した。4日後、「10時間後くらいに先生を推薦するスピーチを少しします。NIBIB演者に推薦する理由として、先生の独創的と考えるアピールポイントを数点、教えてください」とのメールが届いた。AMPCの会議に向かう機内からのメールとのことであった。ここではアピールポイントを3点ほどお伝えした。正直、この時点ではまさか自分が選ばれるとは思っていなかった。それか

ら3か月後、山田 恵先生から「一つお願いしたい案件があります。今日、明日のどこかでZoom meetingなどは可能でしょうか？」とのメールが届いた。山田 恵先生には以前からお世話になっているが、このようなメールが届いたのは初めてだった。翌日Zoom meetingをすることとなったが、この時は何を願ひされるのか見当もつかなかった。翌日、画面の向こうの山田 恵先生から伝えられたのは、「先生がNIBIB New Horizons Lectureの演者に選ばれました」という内容だった。メールではなく、直接伝える決まりになっているとのことで、Zoom meetingという形を取ったそうである。大変驚いたが、めったにないチャンスなので、二つ返事で承諾させていただいた。

実際の演者選定プロセスはわからないが、飯間先生と山田 恵先生の多大なお力添えがあって筆者が選ばれたのだと理解している。飯間先生は同学年であり、「持つべきものは友」と実感した。山田 恵先生は、筆者が若いころから図々しくも飲み会の席などでお話しさせていただいていたことが功を奏したのではないかと考えている。

講演の内容

NIBIB New Horizons Lectureは、5月13日(火)10時30分から開催された(図1)。当日は9時15分からリハーサルがあり、スライドや音響のチェックを行った。聴衆のいないPlenary Hallに入るのは新鮮だった(図2)。ハワイ開催